



こんにちは。
まだまだ寒い日が続きますが、
暖かい春はもうすぐそこ。

3月の和名は『弥生（やよい）』といって、
「木草 弥 生い茂る月（草木がいよいよ生い茂る月）」
という言葉が短くなったものだそうです。

春を迎えて草木が育つ、
命が芽吹く季節にはぴったりの名前ですね。

さて、命の芽吹き、といえは
私たち人間にも妊娠・出産という形で訪れます。

今はまだその予定がなかったり、
これを読んでいる皆さんが男性だとしても、
将来のためや、ご友人、奥様のために、
ぜひ知っておいていただきたい
『妊娠時期特有の危険』があります。

妊娠すると
体内のホルモンバランスが変化し
お母さんの身体には
さまざまな影響があらわれます。

女性ホルモンが増えるのも、
その変化のひとつ。

ですが困ったことに、
歯周病菌の中には
女性ホルモンが大好きな菌種がいます。

そのため、ある調査では
妊婦さんの約8割が
歯周病に罹っている
というデータがあるほど、
妊婦さんは歯周病にかかりやすいのです。

◆歯周病は万病のもと

歯周病は痛みなどの
直接的な影響が少ないため
軽く見られがちですが、
放置していると必ず歯が抜けてしまいます。

- しかも、
- ・脳梗塞
 - ・心臓病
 - ・糖尿病
 - ・骨粗しょう症
 - ・誤嚥性肺炎
 - ・がん…

といった、
さまざまな病気のリスクを
高めることもわかっていますので、
決して甘く見ていい病気ではありません。



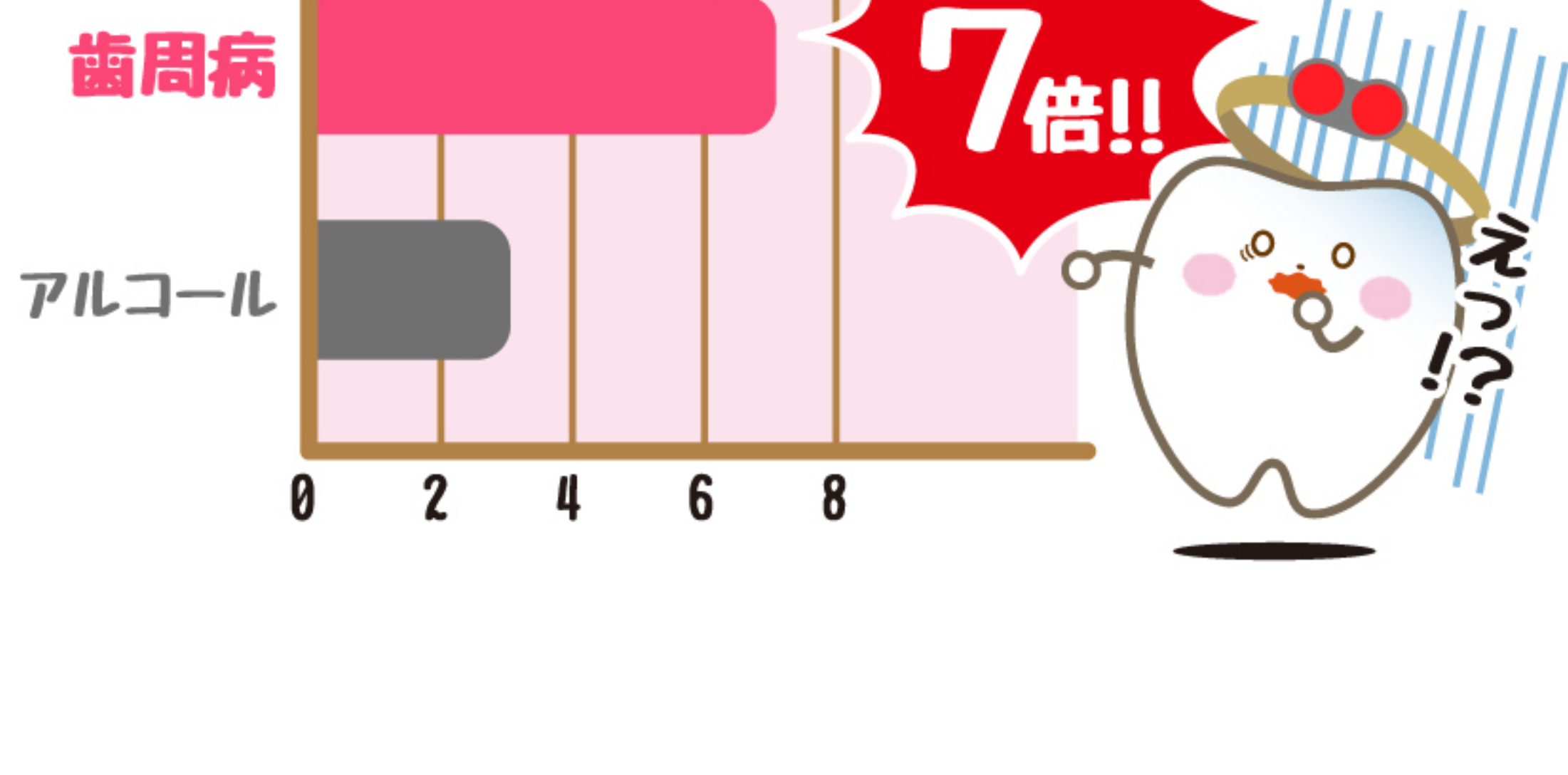
◆歯周病はお腹の赤ちゃんにも…

全身に影響があるということは、
当然ながら
お母さんのお腹の中にいる赤ちゃんにも
悪影響が及びます。

それは、早産・低体重児の出産リスクです。

アルコールを摂取した際の
早産リスクが約3倍なのに対し、
なんと、歯周病を患うと
早産のリスクが7倍にまで
高まってしまうのです。

早産・低体重児の出産リスク



母子ともに健康であるためにも、
妊娠したら産婦人科だけではなく、
歯科へも必ずご来院ください。

また、つわりが辛い時は決して無理せず、
落ち着いた時にいらしてくださいね。

